

メガソーラーを集中的に建設する



メガソーラー

茨城・千葉に14カ所建設

電気通信設備の工事などを手掛ける、つくば電気通信(茨城県土浦市、植田利収社長)は茨城、千葉両県に計14カ所の大規模太陽光発電所(メガソーラー)を建設する。合計出力は2万キロワットを超え、単独企業による太陽光発電事業としては北関東で有数の規模になりそう。太陽光発電の設置などのコンサルティング事業にも参入し、需要を取り込む。

つくば電気通信、出力計2万超

まず石岡など10月稼働

別途設立した有責任事業組合(LLP)、テックエナジーが事業を手掛ける。メガソーラーと呼ばれる出力1000キロワット

以上の設備は、茨城県の鉾田市や石岡市など県内の6市と、千葉県成田市に設置する計画。このほか、出力760キロワットの設備を鉾田市に設ける。いずれも採土場跡地や耕作放棄地を定期借地方式などで賃借する。

まず10月に石岡など4カ所で運転を開始。来春までにさらに4カ所、2014年中にすべてを稼働させる予定だ。合計で一般家庭約6600世帯の使用分の電力を発電できる見通し。再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度を使って全量を東京電力に売電する。

り買い取り単価は下がるが、「自社で太陽光発電パネルの設置工事や管理も手掛けているため採算は確保できる」(同社)という。投資額は66億円を見込み、銀行融資などで調達する。

今後はメガソーラーへの参入を目指す企業向けのコンサルティングも始める。用地情報を提供するほか、施工や維持管理まで自社で受注し、収益を拡大する。

8カ所についてはすでに1キロワット42円で売電する認定を受けている。残り5月ごろの申請となる